

2007年3月26日

報道各位

パンパシフィック・銅株式会社

「レガリート銅鉱床開発プロジェクト」の呼称変更について

パンパシフィック・銅株式会社（本社：東京都港区虎ノ門二丁目，社長：久留嶋毅）は，現在，チリ国において，湿式製錬により鉱石から地金までの一貫生産体制を構築しようとする「Regalito（レガリート）銅鉱床開発プロジェクト」の呼称を，3月22日をもって「Caserones（カセロネス）銅鉱床開発プロジェクト」に変更することといたしました。

本プロジェクトは，従来，当該鉱区の前所有者の命名による「レガリート」の呼称を用いて参りましたが，今般，本開発プロジェクトにおいて，追加ボーリング，パイロットプラントの建設などを開始し，今後，経済性調査が本格化することを契機に，当該鉱区の名称である「Caserones」に呼称を変更することとしたものであります。

当社では，「チリを中心とする資源賦存地域における銅事業基盤の確立」を経営課題として掲げ，本開発プロジェクトをはじめ有望な鉱山プロジェクトの権益獲得および自主探鉱活動を鋭意推進してまいります。

以上

【お問合せ先】

パンパシフィック・銅株式会社
総務部 小松崎
電話番号 03-3560-8602

(参照) Caserones 銅鉱床開発プロジェクトの概要

(1) Caserones 銅鉱床の所在地

チリ第 州の州都 Copiapo から南東 162km , アルゼンチンとの国境から 15km に所在。
鉱床付近の標高は 4,200m ~ 4,600m。

(2) 対象鉱区

6 採掘鉱区 (4,258ha) 及びこの採掘鉱区を取り巻く 158 の探鉱鉱区 (41,700ha)。

(3) 埋蔵鉱量

約 6.3 億 t (酸化鉱及び二次硫化鉱 , 品位 0.43% , 銅量ベース約 270 万 t)

(4) 生産から出荷までのプロセス

露天掘りで採掘した鉱石をベルトコンベアでリーチングエリア (浸出設備) まで搬出・堆積する。その後、銅分を希硫酸でリーチング (浸出) し SX/EW プラントでの溶媒抽出・電解採取過程を経て電気銅を生産する。生産された電気銅は近隣港までトラック輸送し出荷する。

(5) スケジュール (予定)

2006 年 ~ 2008 年

追加ボーリング , リーチングパイロットプラントテスト等を含む経済性調査 (feasibility study) を実施する。(調査費用 約 1 億 US ドル)

(2007 年以降の主なスケジュール)

- ・追加ボーリング 1 月 ~ 5 月
- ・リーチングのパイロットプラント建設 7 月完工
- ・パイロットプラントによるリーチング試験 7 月以降約 1 年間

(経済性調査の結果を踏まえて実行を決定した場合)

2009 年 ~ 2010 年

生産設備建設

2011 年

操業開始 (2029 年まで 19 年間操業 , 年間約 11 ~ 15 万 t の電気銅を生産)

以 上